

平成30年度 経営発達支援事業 モニタリング検討委員会議事録

1. 評価機関名 音更町商工会 モニタリング検討委員会
2. 開催日時 平成31年3月20日(水) 16時00分～17時15分
3. 開催場所 プロspa6 2階ホール

4. 出席者名

(1) 外部有識者

長岡 輝	音更町経済部商工観光課 商工労政係長
太田 惣一郎	日本政策金融公庫帯広支店 国民生活事業統括
佐々木 将太	帯広大谷短期大学生生活科学科 助教
木野村 英明	木野村英明法律事務所 弁護士
本庄 雅人	本庄雅人税理士事務所 税理士
岩田 英来	㈱象設計集団 代表取締役
大山 信幸	北海道商工会連合会 十勝支所長

(2) 音更町商工会

山本 英明	会長
阿部 英輝	副会長・モニタリング検討委員会委員長
中谷 彰	理事・総務広報委員長
牧野 悟	理事・総務広報副委員長
坂井 寛明	事務局長
角谷 稔	経営指導員
畔木 巧	経営指導員
上野 俊介	補助員

5. 議事経過の要領及びその結果

定刻となり、事務局の坂井事務局長が開会を宣し、山本会長が開会挨拶を行った。次に各委員の自己紹介を行った後、山本会長が阿部委員を委員長に指名し、阿部委員長が議長となり議事に入った。

(1) 平成30年度経営発達支援事業の実施状況報告及び事業評価について

阿部議長より事務局に対して説明を求め、畔木経営指導員が経営発達支援事業の実施における事業評価の趣旨を説明し、資料3の事業評価シート(平成30年度)に基づき下記の通り説明を行った。

I 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

- ①統計資料や国勢調査による人口動向等の調査分析
- ②経済センサスや統計資料等による業種の動向調査
- ③地域内事業所の経営内容調査

【実施内容】 未実施

【実施効果】 平成 28 年度に実施済のため、29 年度以降は実施計画なし

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
—	—	—

Ⅱ 経営状況の分析に関すること【指針①】

① 小規模事業者の多面的な経営分析

【実施内容】 小規模事業者の販売促進や金融斡旋に伴う事業計画策定に活用するために、財務状況等の経営分析を実施しました。

【実施効果】 3 会計期間の経営指標による経営分析の結果を小規模事業者に提供することにより、財務状況における自社の現状と課題が明確化され、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
5 件	8 件	A

② 巡回訪問による経営状況の把握

【実施内容】 巡回による経営状況の確認を行い、経営課題の解決に向けた専門家の派遣支援と各種施策等の利用による支援を実施しました。

【実施効果】 専門家派遣支援の実施により課題解決に向けた方向性が明確化され経営改善が図れました。また、各種施策等の利用によって経営課題が解決し、販路開拓での来客数の増加によって売上・利益の向上が図れました

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
10 件	16 件	A

③ 経営課題の見える化に対する取組

【実施内容】 経営分析の客観的なデータ等を小規模事業者に示し、事業者自らが自社の経営状況や経営課題について把握した。

【実施効果】客観的なデータによる経営分析が行われたことにより、事業者自身が自社の現状と課題を把握でき、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
10件	8件	B

④タブレットを活用した簡易財務分析

【実施内容】未実施

【実施効果】計画当初はタブレットを活用した簡易財務分析を予定していましたが、実際に小規模事業者に対して説明する際には複数期間での本格的な経営分析の方がわかりやすく結果も把握しやすいため、今後においてもタブレットは使用せずに、本格的な経営分析の実施により経営課題の解決を図っていくこととしています。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
5件	—	—

⑤専門家派遣等による企業支援

【実施内容】新たな事業展開に向けた企業支援や販路開拓、事業承継等の専門的な支援において、専門家の派遣支援と専門家による個別相談会を実施しました。

【実施効果】専門家の派遣支援及び個別相談会の開催により、今後の持続的発展に向けた事業展開が明確化され、事業計画策定の重要な指針となった。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
10件	22件	A

Ⅲ事業計画策定支援に関すること【指針②】

①持続的発展支援

【実施内容】販路開拓等に向けた事業計画の策定において、事業者の思いやアイデア等に加えて伴走型の助言を行い、持続的発展

のための事業計画策定支援を実施しました。

【実施効果】事業者の思いやアイデア等に対しての客観的な意見や助言により、事業計画内容のブラッシュアップが図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
25件	26件	A

②セミナー等の開催

【実施内容】販路開拓に向けた事業計画策定セミナー及び個別相談会を開催するとともに、新規創業予定者のための創業支援セミナーと個別相談を実施しました。

【実施効果】販路開拓に向けた小規模事業者持続化補助金の制度普及と申請にあたっての事業計画策定手法についての理解が深まりました。また、創業支援セミナーにおいては、今後の創業にあたっての事業計画の重要性や各種施策等についての周知が図れ、個別相談では創業計画書のブラッシュアップが図れ、1名の新規創業に繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
7回	8回	A

③支援施策の活用支援

【実施内容】「小規模事業者持続化補助金」や音更町の「空き店舗活用事業補助金」の申請に伴う事業計画策定支援や手続き方法等の説明支援を実施しました。

【実施効果】申請手続きの流れを理解いただき、事業計画内容のブラッシュアップが図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
20件	18件	B

IV事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

①PDCAサイクルの確立支援

【実施内容】事業計画内容と実際の経営状況を比較検討し、今後に向けた対応策についての助言指導を実施しました。

【実施効果】 経営状況の比較検討により経営課題が明確化され、今後の対応について共通の認識を持つことができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
15件	15件	A

②事業計画実施に伴う金融支援

【実施内容】 日本政策金融公庫のマル経資金や音更町・北海道の各融資制度の斡旋及び情報提供による金融支援を実施しました。

【実施効果】 各種金融制度の斡旋・情報提供により円滑な資金繰りが図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
120件	102件	B

③継続的なフォローアップの実施

【実施内容】 創業や空き店舗活用事業者、販路開拓に向けた事業計画の策定事業者等に対して、巡回及び窓口での状況確認とアドバイスをを行い、事業計画の実施に向けた伴走型の支援を実施しました。

【実施効果】 状況確認と適切なアドバイスをを行ったことにより、経営状況の情報共有が図れ、新たな事業展開を実施した事業所が9件と新規創業等に繋がった事業所が5件となりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
120回	110回	B

④創業者の認知度向上支援

【実施内容】 広報誌「商工おとふけ」での記事掲載や会員交流事業への参加推進により、新規創業者を含む新会員の認知度が向上しました。

【実施効果】 認知度の向上により、今後の事業における取引機会の拡大につながることを期待できます。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
5回	7回	A

V 需要動向調査に関すること【指針③】

①消費者ニーズの把握

【実施内容】 未実施

【実施効果】 新たな需要の開拓を伴わない為、補助対象外となり今年度は実施できませんでした。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1回	—	D

②市場環境の調査分析

【実施内容】 未実施

【実施効果】 新たな需要の開拓を伴わない為、補助対象外となり今年度は実施できませんでした。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1回	—	D

③イベント等でのニーズ調査

【実施内容】 メロディーラインまつりの開催時において、町民や観光客のニーズを把握するために、来場者に対するアンケート調査を実施しました。

【実施効果】 調査した消費者ニーズの情報を今後提供する商品や商品開発等のためのツールとして活用が図れます。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
3回	1回	C

④小規模事業者の経営力向上への取組

【実施内容】 イベント開催時に行ったアンケート調査の結果を小規模事業者に対して情報提供いたしました。

【実施効果】 アンケート結果の情報提供により、今後の商品開発や販売促進に向けた取組みにつながることを期待できます。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
2回	1回	C

VI新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】**①即売会開催による販売促進**

【実施内容】 メロディーラインカフェ及びメロディーラインまつりの開催時において、販売促進のための即売会を開催しました。

【実施効果】 即売会等の開催により、消費者や観光客に対して広く商品を紹介することができたため、店舗の認知度向上が図れて各個店への来店機会の増加につながりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
4回	2回	C

②ITツールを活用した販売促進

【実施内容】 小規模事業者の新たな商品PRや販売促進に向けて、多様化するSNS業界の様々な事例から自社の戦略に沿ったSNSの活用方法についてのセミナーを開催しました。

【実施効果】 最近のSNSの現状とサービスの種類や特徴を学ぶことができ、今後の販売促進に向けてSNSの活用手法を理解することができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
5件	7件	A

③展示会・商談会への出展支援

【実施内容】 未実施

【実施効果】 当初計画で予定していた展示商談会が開催されず、他の展示会・商談会等への出展参加も含めて検討はしたものの、申込のタイミングが合わなく、今年度は実施することが出来ませんでした。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
4件	—	D

④飲食店への販売支援

【実施内容】 飲食店と宿泊施設や体験施設等が連動した統一パンフレットを作成・配布しました。また、ラーメン店が一同に集まった「音更ら～麺村」を開催するとともに、スタンプラリーのPRを実施しました。

【実施効果】 各飲食店の周知拡大が図れたことにより、各店舗の新規来店客の獲得にも繋がっており、各店平均で約2%程度の売上が増加いたしました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
50件	54件	A

VII地域経済の活性化に資する取組

①メロディーラインカフェの開催

【実施内容】 農業者と飲食業・宿泊業・製造業・小売業者が連携を図り、地域の特産物と農業体験等の各種メニューである地域資源を消費者や観光客に対して提供しました。

【実施効果】 地域の特産物と農業体験等の各種メニューである地域資源を提供し、「食べる、遊ぶ、体験する、観る、泊まる」を連動させることにより、各個店の新たな利用客の拡大が図られ売上の増加につながりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
6回	1回	C

②音楽フェスタの開催

【実施内容】 十勝川温泉の観光拠点である「ガーデンスパ十勝川温泉」で、「音更ら～麺村」の開催に合わせて音楽イベントを実施しました。

【実施効果】 「音」をキーワードにした地域イベントの開催によって、十勝川温泉地区の消費拡大が図れて、売上の増加につながりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
2回	1回	C

③仕事と子育ての両立支援事業の推進

【実施内容】 未実施

【実施効果】 福利厚生リサーチ委員会の中で検討したが、保育事業を実施する会員事業所も増えてきており、商工会が実施することにより民業圧迫の恐れも出てきたため、時期尚早として当面は実施しないことになった。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
—	—	—

Ⅷ他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

①関係機関との情報交換

【実施内容】 十勝管内経営指導員研修会（春季・冬季）での全体会議や日本政策金融公庫国民生活事業とのマル経協議会、懇談会での情報交換を行いました。また、町内金融機関との金融懇談会や派遣税理士との情報交換を実施しました。

【実施効果】 他の支援機関の取り組み等を情報交換することにより、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
8回	16回	A

Ⅸ経営指導員等の資質向上等に関すること

①研修等への参加

【実施内容】 経営指導員は、中小企業大学校旭川校での専門研修へ参加し、飲食業支援の進め方の手法や新規創業・開業支援の進め方の手法について資質向上を図るとともに、十勝管内経営指導員研修会や伴走型支援担当者会議の出席により研鑽を図りました。また、北海道商工会連合会の経営指導員研修会では経営支援事例を研修することで支援ノウハウの習

得が図れました。補助員は、中小企業大学校旭川校での専門研修へ参加し、経営改善支援の進め方の手法について資質向上を図りました。記帳専任職員は、北海道商工会連合会の専門研修会及び全道ブロック別商工会研修会や共済事業研修会を受講し、資質の向上を図りました。

【実施効果】研修会等への参加により、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1 1回	2 3回	A

②職員会議の実施

【実施内容】担当業務や支援内容等の情報共有を図るとともに、今後の業務予定等の確認を行いました。

【実施効果】職員同士で業務内容のチェックができ、間違いや対応忘れなどの未然防止につながっています。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1 2回	1 3回	A

③専門家派遣事業への同行

【実施内容】専門家の派遣支援に同行し、支援の現場に立ち会うことで資質の向上が図れました。

【実施効果】専門的な支援内容等における指導や助言方法を間近で見聞することにより、今後の支援ノウハウの向上が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
5回	6回	A

X事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

①モニタリング検討委員会の開催

【実施内容】経営発達支援計画の説明を行い、今年度の実施状況と実績報告により、検討委員より評価・見直しについての提言をいただき、PDCAの取組を実施しました。

【実施効果】今年度の取組における評価や検証の方法について提言をいただき、今後の事業実施における手法や課題が明確になりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1回	1回	A

阿部議長がこの説明を受けて、今回取り組んだ事業及び事業評価について、出席委員に対し意見等を求めた。

- 山本英明 — 実施数値に対する評価となるため、文章として読み取るとはなかなか難しいと思う。また、次の申請においては止めるものは止める、やるものは重点的にやるなどを明確にしていた方が良い。
- 大山信幸 — 更新申請において、止めたり下方修正する場合にはそれなりの理由が求められる。なぜ止めるのかを明確にする為にも、申請前に再度検討委員会を開催した方が良いと思う。
- 太田惣一郎 — 創業セミナーは専門家と公庫、商工会がうまく連携出来ていると思う。また、今回は個社支援としての専門家の個別相談も効果として出ている。
他にもPOPの見せ方を工夫することで売り上げも変わってくる。
来年度、公庫の融資制度が拡大され、地域おこし協力隊で支援を受けた方は融資金利での優遇もあるので、今後も引き続き音更町や商工会と公庫が連携出来れば良いと思う。
- 山本英明 — 創業などの成功事例は大変評価しやすいと思う。
- 長岡 輝 — 来年度から東京や首都圏近郊に5年以上在住している方が、それ以外の地域へ移住・就労した時には国の助成金がもらえるようになる。採用した企業へも募集費用の一部助成があるので、ぜひ活用してほしい。
- 岩田英来 — 当社も本州からの採用を行っているので、もっともっと情報を広く公表し地元企業への採用に繋げてほしい。
- 長岡 輝 — 本町でもゆくゆくは後継者不足になることが予想されるので、経済センサスでの後継者ニーズ調査を行っていき、事業者支援をしていきたい。
- 大山信幸 — 今年の8月頃には次の更新申請に何を入れるのかを明確にして、本検討会で評価・検証して次の計画に繋げていかなければならない。

- 阿部英輝 — 次の5年に向けてどう繋げていくのかなどを提案できるようにした方が良い。
- 山本英明 — 計画内容で力の入れる所とそうでない所のメリハリを付けてやった方が良い。
- 阿部英輝 — 計画内容の中でいかにして簡素にしていくかを検討してほしい。

阿部議長が出席者に対して他に意見等がないかを諮ったところ、特になく、出席者全員異議なく承認した。

(2) その他について

阿部議長が出席者に対してその他について意見等がないかを諮ったところ、特に発言はなく、出席者全員異議なく承認した。

すべての議事が終了し、阿部議長がモニタリング検討委員会を終了する旨を述べ、17時15分に閉会した。